

# コガソフトウェア

客観的に個々のエンジニアの欠点を把握し、  
スキルアップに役立てる

技術力だけでなく、コミュニケーション能力ややる気、リーダーシップなどのヒューマン系スキルなども含めて、客観的に判断するツールはないか。そんなときに出会ったのが、「ITSS-DS」である。スキル診断の結果により見えた欠点を克服する教育を施すなど、有効に活用している。



代表取締役社長  
古賀 淳二氏

## コガソフトウェアの人材教育(人格教育)の4本柱

1.ITSSスキル診断の活用

2.社長によるメールマガジン

3.現場での業務経験の積み重ね

4.資格取得の奨励

「ITSS-DS」  
の実施

自己評価

自己啓発

### ITSSスキル診断の効果

- 1.資格取得では判断できないコミュニケーション能力、マネジメント能力等の測定の実現
- 2.自己改革の機会の提供

## ITSSへの取り組み

### 2005～2006年度コガソフトウェアのITSSに対する取り組み

#### 会社の取り組み

コミュニケーション能力のアップを目指し、全社員に話し方教室を受講させた。  
(45時間=2.5時間/日×月6回×3ヵ月)  
協力：トーク&コミュニケーションアカデミー

#### 社員の取り組み

「ITSS-DS」の結果から、弱点の自己啓発を行った。

#### ■1.社員平均レベルの大幅アップ

2005年3月 ITSS社員平均レベル2.8  
↓  
2006年3月 ITSS社員平均レベル3.5

1年間で0.7ポイントUP

#### ■2.大幅な増収・増益

2005年3月 売上高 3億9千万円  
経常利益 8百万円  
↓  
2006年3月 売上高 6億2千万円  
経常利益 5千万円

58%増収 600%増益

コガソフトウェアは2000年3月設立された、Javaに特化した業務用システムや通信システムの開発を行っているソフトウェアハウスである。社員2名でスタートし、丸6年過ぎた現在は100名を越す企業に成長した。

同社では、SEの能力を客観的に評価するため、取得した資格数で評価している。「IT系の資格だけではなく、例えば信用金庫上級実務者や日商簿記、銀行業務検定・証券などの業務系の資格についても評価しています。システムは、ITだけではなく、業務を理解していないと作ることができないからです。また当社で管理職になる場合は、高度情報処理資格や技術士などを取得することが条件となっています」と古賀 淳二代表取締役社長は語る。

資格という客観的な事実を基に評価を続けてきた同社だが、会社の規模が大きくなるに従い、仕事の内容もチームでの作

業も増え、それに伴いリーダーシップのとれる人材も必要になってきた。

「コミュニケーション能力ややる気、リーダーシップなどの、ヒューマン系のスキルを数値化する方法がないか探していたところ、ちょうどJPSA（日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会）が、ITスキル標準（ITSS）を活用するモデル企業を公募しており、それに応募したのです」と古賀社長は語る。

まずは社員全体のスキルレベルの把握をするため、「ITSS-DS」を選定し、診断を実施した。

### 自分の弱点が分かり、スキルアップの目標ができる

古賀社長が考える「ITSS-DS」を導入するメリットは、エンジニアのスキルレベルが全国というものさしで見られるこ

